

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 21号)

平成31年 4月11日発行
 兵庫のみ研究所

今回調査は降雨後の調査でした。窒素は陸水等の影響が見られた鋼管漁場で5~6 $\mu\text{g-at/L}$ 台、二見以西で概ね1~3 $\mu\text{g-at/L}$ 台、魚住以東で2~4 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。明石海峡部周辺海域の窒素は2 $\mu\text{g-at/L}$ 台と前回(4/5)調査よりやや上昇しています。キートセロス等数種の珪藻が確認されますが、発生量は少ない状況が続いています。

(水温) 漁場内平均12.2℃。平年比0.2℃、昨年比0.8℃それぞれ高い。(塩分) 平均31.73psu。前回(32.08)より0.35psu低い。
 (栄養塩、珪藻) 珪藻は別府周辺でキートセロスやリゾソレニア等数種が確認されるが、大きな増減は見られず海域全般に発生量は少ない。今週始めより降雨(気象庁アメダスより 4/7~4/10雨量計: 32.5mm)が見られたこともあり、窒素は前回調査と比較し漁場全般に少し高くなっている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.9	12.2	12.0	11.4
窒素	3.4 ※	3.0	3.1	3.6
リン	0.26	0.25	0.25	0.24

(4/5)

(4/9)

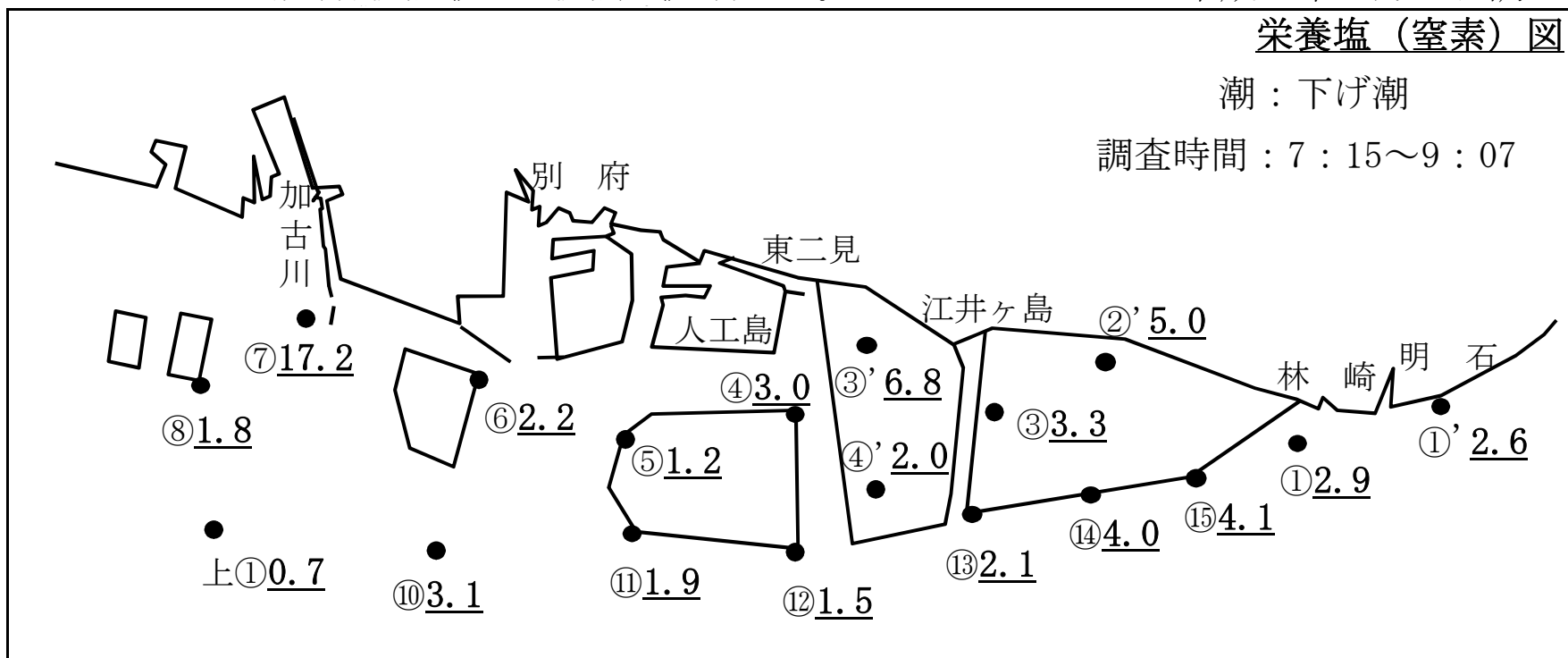
※別府・高砂漁場の値により漁場平均値が高かった。

平成31年 4月11日調査

栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:15~9:07



水温図

